

令和 4 ～ 6 年度大田区景観アドバイザー会議の実施について

●景観アドバイザーの構成

3名（専門分野：外構計画1名、都市計画1名、色彩計画1名）

●景観アドバイザー会議を実施する案件規模

- ・ 公共施設
- ・ 特定大規模建築物（高さ 45m 以上または延べ面積 10,000 m²以上の建築物）

●件数（種別ごと）

	令和 4 年度 19 回（第 191～209 回）	令和 5 年度 17 回（第 210～226 回）	令和 6 年度 13 回（第 227～239 回）
大田区施設	20	14	12
その他公共施設	10	6	6
民間施設	10	11	8
その他（視察等）	—	3	2
計	40	34	28

●アドバイス事項例

<u>公共建築物に対するアドバイス</u>	<u>民間建築物に対するアドバイス</u>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩・意匠の方針（周辺環境・建物の色味・素材感への適合、ハイコントラスト抑制、明度差の適正化） ・ 分節化・リズム設計（大規模ボリュームは横・縦の分節化・リズムづくりを推奨） ・ 公共性・公開性（広場・歩道空地・アプローチ・サインの統合・開放感の確保） ・ 緑化・植栽計画（日照・日影性・樹種選定関係、公園、緑道、街路との連続性の確保） ・ 経済性・維持管理（維持費、長期的運用性、緑化手法の保守性・費用、企業ロゴ等の色・素材の周辺との調和） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観形成基準の順守（周辺建築物との調和、緑地の連続性を意識） ・ 公開性・外部空間の創出（公開空地・歩道空地・広場の位置・機能などの明確化） ・ 安全性と機能性（防球ネット・擁壁・フェンスの設置場所・透過性・視認性を景観と両立させる設計を要請） ・ 維持管理と長期性（緑化の維持費・管理体制・植栽の入替計画・将来の改修計画との整合性）

助言例 1：外壁の色等について、黒色が多用されておりモダン感が強く、周辺から浮いてしまう可能性がある。

⇒助言を考慮し、一部外壁の色を変更。

助言例 2：植栽計画について、成長による影響を考慮し、一部樹木を変更すると良い。

⇒指摘のあった樹木を変更。